

大津けいはん タイムス

大津線沿線で
見つけた!

ぬくもりを感じる 木のおもちゃ



おおきいどうぶつ(14種類)各840円／こどものどうぶつ(14種類)各420円／どうぶつ組木(8種類)各300円

ていねいに磨きこんだ、やさしいフォルムのどうぶつたち。“おおきい”サイズはお母さん?ひとつひとつの表情を比べてみて!



マカダミアナッツが丸ごと入った白いクッキーや、“かた~い”野菜のクッキーは、渝しげな女子たちの手で作られる。

クッキー 1袋350円(約25種類)

●れもん会社(湘南学園)
TEL 077-537-0046(月~金)

★京阪石山駅、唐橋前駅、石山寺駅近くの協力店や、毎月18日の石山寺門前市「牛玉さん」などで販売

色の組み合わせも楽しい 刺し子の小物



刺し子丸底ポーチ700円／刺し子携帯ストラップ300円

細かな針目が表情ゆたかに連なる…まるで織物のような布地は余すことなく、さまざまに仕立てられる。



落ち着いた風合いの香炉は、安らぎの時間を提供してくれそう。

手焼き香炉セット1,000円

●みどり園【松ノ馬場駅下車 徒歩6分】
TEL 077-579-3915(月~金、第2・4土)

★毎年5月第4日曜日「みどり園バザー」開催

心がほわっとする手作りの品

授産施設の製品って こんなにステキ

これからの季節、クリスマスやお正月など、誰かに贈り物をする機会が多いですね。

そんな時、授産施設の製品を選んでみませんか。

相手が喜んでくれるうえに、選んだ自分もちょっとうれしい♡

作る人、お手伝いする人の「一生懸命」が伝わる製品がたくさんあります。

沿線で、あなたのハートがキュッとなるものを見つけてください。

～大津線沿線で作られている 授産施設の製品を紹介します～

「あんふあんカフェ」で
れもん会社のクッキー・木工製品
みどり園の刺し子製品
唐崎やよい作業所の手織り小物等販売
【浜大津駅直結・明日都浜大津3F】
TEL 077-527-8753 / 月曜・第4日曜休み

手をかけて織った布で作る かわいいモチーフ



手織りさかな壁掛け1,200円／ハートストラップ200円
ガラス底ボウル500円／ねこのコップ300円

それぞれの個性を織り込んだ布で、丁寧に仕上げた“魚”や“ハート”たち。

信楽の土などを使った焼きものも味わい深い。ガラスの色合いがシックな小さいボウルは、アクセサリーに入れ。

●唐崎やよい作業所【穴太駅下車 徒歩7分】
TEL 077-579-5950(月~金)

★11月7日「こだままつり」開催
(滋賀大附属特別支援学校グラウンド／滋賀里駅徒歩10分)

2010年秋

発行: 大津の京阪電車を愛する会

発行日: 2010年10月28日

「大津けいはんタイムス」を手に取って戴きありがとうございます。
本誌は大津市内を走る京阪電車沿線の人々との交流と、まちの活性化を目指し「大津の京阪電車を愛する会」の会員自らが作った情報誌です。
★「大津の京阪電車を愛する会」は、貴重な公共機関としての京阪電車大津線(京津線・石山坂本線)の利用促進を図ることなどを目的に設立された市民団体です。

カラフルなフェルトや こだわりのパン



フェルト花プローチ700円／フェルト花ゴム300円・500円
ゴム付きフェルトボール200円・300円

ふわふわの羊の毛を重ねてこすったり、丸めたり、ちくちくしたり…。想いと色を絡ませて、好みのかたち、やわらかさに変化させていく。



クッキー1袋250円(全10種類)
ホイップあんぱん150円／パン120円～(約50種類)

●社会就労センターこだま【京阪膳所駅下車 徒歩8分】
TEL 077-527-3789(月~金)

★11月7日「こだままつり」開催
(滋賀大附属特別支援学校グラウンド／滋賀里駅徒歩10分)

毎年図柄が楽しみな 木版カレンダー



木版画(16×23.5cm)500円／木版はがき100円

鮮やかな色合いの手刷り木版画は、熟練した作業から生まれ出される。

●2011年カレンダー(木版画7枚付)3,000円は、11月上旬より販売予定



手造り味噌(500g)500円
採れたて野菜いろいろ100円～

●瑞穂(みずほ)【瓦ヶ浜駅下車 徒歩10分】
TEL 077-525-9520(月~金、第2・4土午前)

★毎年6月第1日曜日「みずほ祭り」開催

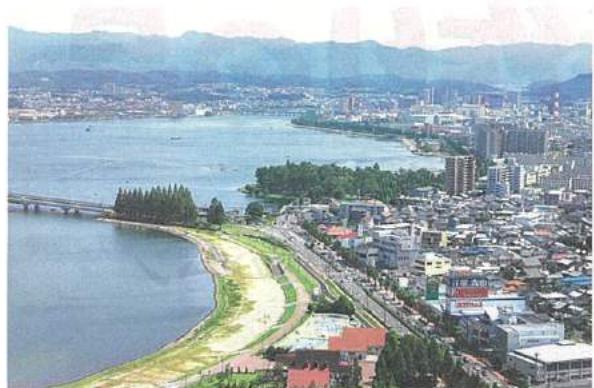
途中下車の小さな旅

ぜぜほんまち
膳所本町を散策

～城下町の面影を偲ぶ～

【膳所城の歴史】

膳所城は湖に突き出た“膳所が崎”に本丸、四層の天守閣が湖岸に屹立、石垣にはさざ波が打ち寄せる水城（みずじろ）で、「水に映える膳所の城」とも詠われた美観は旅人の目も楽しませた。



湖に突き出たこんもりとした緑の所が膳所城跡公園

獄舎誘致などで凌いだと、膳所の歴史に詳しい家老の末裔の戸田耕吉さん（86歳）から伺った。昭和41年（1966年）湖岸道路の開通、刑務所の石山移転があり、住宅建設なども進められ、今日の姿に大きく変貌していったそうだ。

★ミニ情報

「膳所」の地名はこの地一帯が平安時代天皇の食事に供する魚介類を献上する場所（御厨=みくりや）であったことによるところとされている。

11月3日、膳所の歴史を語り継ぐ、第5回「膳所城下町めぐり」が開催予定だ。

京阪電車石山坂本線



沿線の朝市へ行こう！

大津線沿線では「市」が人気。石山寺【牛玉（ごおう）さん】、【菱屋町ラブリーフリマ】など毎月定期的に開催されているものが多くあります。今回はその中からいくつかをご紹介します。

沖島漁師の味やてんぷらが大人気 【浜大津こだわり朝市】



かつて湖上交通で賑わった湖都大津での、消費者と生活者の顔が見える関係の新しい可能性を探る取り組みとして平成15年にスタート。現在は平均35店舗前後が出品しています。人気は「漁師の家の家庭の味がウリ」という“沖島漁師の会”的のコーナー。前日夜11時に出漁して朝4時に帰港、商品を車で大津に運び8時開店という、新鮮そのものの商品が並びます。鮎やワカサギのてんぷらは、試食した人はみな買っていくほど好評。また、アトピー体質の方も安心して食べられるよう、農薬・化学肥料を一切使用せずに栽培した野菜を販売しているのは“くろだ農園”。滋賀の地酒、栄餅や燻製製品、湖魚発酵食品など、滋賀らしさ溢れる出展物に常連のお客さんが大変多いのも特徴です。

浜大津駅改札前デッキ、毎月第3日曜日 8時～12時開催
★連絡先：浜大津朝市運営委員会 TEL&FAX:077-524-7826 (金・土・日) 077-533-1941 (月～木)
(E-mail : info@kodawarimarket.com)

季節の野菜、味噌、卵を毎週販売 【滋賀朝市会】



農家の女性たちで昭和62年以来、24年間も続いている朝市。新鮮な野菜や果物、卵、おいしい味噌、餅（9月末～5月）などを並べています。ここでの朝市が終了すると、そのまま商品を軽トラに積み比叡平へ出張販売。

山の上でも70軒ほどの常連客が楽しみに待っています。

JJA滋賀出張所前（南滋賀駅下車1分）毎週金曜日午前7時～8時開催
★連絡先：大伴代志江（TEL:077-524-3530）

手作りアートやフェアトレード品などが並ぶ ひやくちょういち 【百町市】



江戸時代から東海道の宿場町として栄えていた大津市中心部。かつてのにぎわいを取り戻すとともに、まちなかの魅力を再発見してもらおうと平成20年12月から天孫神社で開催。個性あふれる手作りの布製品などが毎回好評で、出展者同士の交流も盛んです。

天孫神社境内（島ノ関駅下車5分）毎月第3土曜日 10時～15時開催
★連絡先：大津百町市運営委員会 FAX:077-514-7694
(E-mail : ichi@machidukuri-otsu.jp)

★この他に、石山おかみさん朝市（京阪石山）、膳所おかみ市（中ノ庄）、湖の駅朝市（浜大津）、三井寺千団子（三井寺）、JA坂本朝市（松ノ馬場）など各地で開催

【城下町の名残】

膳所本町駅から湖につながる城跡公園までの道筋はまっすぐ進んで徒歩10分ほど。だが、途中で道幅が変化するため意外と見通しは悪く、正面に見えるはずの城跡公園は見えない。

筋違いの道、直角に曲がる道、袋小路など、外部からの侵入に備えた城下町特有の町づくりのために、今でも細く入り組んだ路地が残り、一筋道を間違えると思いがけない方向に出てしまう。

藩の臣が住んだ「家中（かちゅう）町」、「殿町」、茶の湯や給仕を担当した茶坊主が住む「坊主町」などの町名は、今も自治会名に引き継がれており、かつての藩士たちがこの界隈を行きかっていたことを教えてくれる。



膳所城の門が移築された膳所神社表（おもて）門



今も残る“ばつたり床几”

旧東海道には玄関先で縁台にもなった、“ばつたり床几（しょうぎ）”や細かな格子の“虫籠窓（むしこまど）”の町家なども残っていて、往時の街道筋を往来する人々や大名行列などの情景を彷彿とさせる。静かなたたずまいの中に今も歴史を語り伝えるものを見つけて、時の経つのを忘れさせてくれる散策であった。

かみさかえまち
上栄町

おおたに
大谷

おいわけ
追分

しのみや
四宮

けいはんやましな
京阪山科

みささぎ
御陵

至二条

京阪電車京津線

京阪沿線でがんばる人たち



11月13日土曜日から2週間、京阪石坂線で毎年恒例の『石坂線みんなで文化祭』(大津の京阪電車を愛する会主催)が走ります。沿線の学校や団体、個人から広く募った美術作品を、電車内に展示したり、電車本体やホームを使って表現するイベントです。この企画を取り仕切るのが、アートディレクターで成安造形大学・現代アートの構想表現クラスで指導されている滝本章雄さん(31歳)。このイベントに対する想いを伺いました。

[毎年恒例になっている作品は何ですか]

膳所高校の書道班が毎年イベントタイトルの“石坂線みんなで文化祭”の文字を書いてくれます。電車側面に貼り付けるのは、縦1m×横6mの大きなもの。この書体が、その年のポスター等にも使用されます。また電車先頭のプレートは特別支援学校の生徒さんの作品。発車セレモニーでは、製作作者本人の手でイベント電車に付けてもらっています。



[今までに記憶に残ったのはどんな作品ですか]

大学生の作品で、今は使われていないホームに緑色に塗った自分の模型を布団に寝かせたものを置いたのです。でもご近所の苦情で撤去されてしまって…。仕方なく屋内に展示しました。



車内展示風景

[このイベントへの想いを聞かせてください]

生徒さん達が構想から自由に関わると、もっと面白くなると思います。作品が情報発信の媒体となり、人と人がつながる場所になればいいですね。色々なジャンルの人気が集まって、学生をはじめ、みんなが普段会えないような人に出会いに来て欲しいと思います。

滝本さんは『art Yard』という、音楽とアートがテーマのカルチャー誌を発行されています。その中で印象的なのが「アクションを起こさなければアクションは返ってこない」「やりたいと思ったのならやれば良いだけ」という言葉。滝本さんの芸術に対する信念を感じます。滝本さんと石坂線の出会いは大学生の頃。その後沿線で、さまざまな芸術活動をする中で自然と石坂線に親しんできたそうです。滝本さんが愛情を持って取り組む『石坂線みんなで文化祭』はアーティストの心意気を感じる秋のイベント。楽しみですね。



沿線の学校へ行こう

～「滋賀県警察学校」を徹底検査～

ここは、新人の教育研修所かと思っていたが、それは一面。県下に約2,500人いる警察職員の養成を目的とした機関であった。研修生には新規採用者を対象とする“初任科”と、何年か経験した警察官の知識や技能を向上するための“専科”がある。全寮制で、この建物内にある寮は6人の相部屋。1日のスケジュールは起床から就寝まで分刻みで定められている。取材に訪れた時は、初任科の短期生(大卒)と長期生(大卒以外)の59名が入校していた。そのうち女性が15名。滋賀県外からも受験する人がおり、例年15名程度の採用があるそうだ。



短期生は6ヶ月、長期生は10ヶ月の研修を受け、その後3ヶ月現場を経験、再び警察学校で2~3ヶ月の初任補修科を経て一人前として配属される。

授業科目は、大きく一般教養・法学・実務・術科と分かれている。柔道や剣道の稽古のイメージが強いが、これは術科の一部。他に逮

捕術、警備実施、拳銃操作、体力検定やAED取扱も。玄関に入った所が職員室になっていて、その脇には各種体力検定のランキングが掲げられている。「私の名前もありますよ。」と案内していただいた初宿(しやけ)校長補佐。1500m走

市役所と大津商業高校の間の道を歩いて行くと、正面に控え目な色合いの、まだ新しいビルが森を背景に建っている。そこが今回訪れた「滋賀県警察学校」。明治13年、「滋賀県巡回講習所」として設立された。

の歴代記録トップ5に載っていた。今も研修生と一緒に体育で走って山登りするそうだ。

本校の特徴として、一般教養でポルトガル語授業が英語と同じ時間組まれている。県下にはブラジル人が多く、事件に関わる機会が増えているためだ。入校中の土日は休みだが帰宅する者は少ない。教科書は持ち帰り禁止になっており寮で自習する。図書室には専門書がズラリ! テレビは寮室に無くまた見る時間も無い。携帯電話も禁止、今時の若者生活とは大違いだ。夏休みもないのかと思ったが1週間与えられるとか。

取材した日の昼食はカレーライスだった。大きめの皿に大盛り。制服姿の研修生が、様子を見ていた私たちに一人一人大きな声で挨拶して通り過ぎていく。こちらが恥ずかしくなるくらいだ。帰り際の「教官はやはり警察官として優秀な人が任命されるんですか?」には「さあー」との笑顔。振り返って眺める建物は頼もしく見えた。



警察学校の一日	
6:30	起床
6:40	点呼
7:00	掃除
7:30	朝食
8:30	学級活動、朝礼
9:00	授業(80分)
10:20	準備、休憩
10:30	授業(80分)
11:50	昼食
12:50	授業(80分)
14:10	準備、休憩
14:20	授業(80分)
15:40	準備、休憩
15:50	授業(80分)
17:10	準備、休憩
17:20	トレーニング
18:30	夕食、風呂
20:00	自習
21:40	点呼
23:00	消灯

京阪電車知って得する!まめ知識

～知れば奥が深い踏切～

電車が通るたびに「カン・カン・カン…」と鳴り響く音。黄色と黒の遮断棒、赤い点滅するランプ。踏切といえば思い浮かぶ情景ではないでしょうか。踏切で待つ皆さんの安全と電車の安全運行を見守る踏切。今回は大津線の踏切のあまり知られていない真実をピックアップしました。

皆さんを利用する踏切、京津線で33ヶ所、石坂線で93ヶ所、合計126ヶ所もあります。改札の中にあるもの、路地裏にひっそりとたたずむものなど、踏切の設置場所は実はとても個性的。

その1つ1つには名前が付けられています。何か踏切で困ったことが起った時、京阪電車などに正しく場所を伝えるためでもあります。事務的に割り振られた名前もありますが、独特の名称を持つ踏切もたくさん!何気ない名前ひとつから、その踏切界隈の歴史が伝わってきます。

お寺が多い大津市街地を走る京阪電車、お寺にゆかりのある名前を持つ踏切もいくつかあります。その踏切を渡った先にはお寺の門というところも。そのひとつが「宝林寺」踏切。石坂線の終点坂本駅近くです。



宝林寺へ通じます



この先はいったい?

踏切の通じる先に目を向けると、渡った先に道がないということもあります。石坂線瓦ヶ浜駅の近くにある「瓦ヶ浜2号」踏切も不思議のひとつです。

京都と大津を結ぶ京津線。滋賀県と京都府の境目にはその名ズバリ、「府県境界」踏切。四宮駅～追分駅の間にあります。

近くには「京都府」「滋賀県」の標識が仲良く並んでいます。車窓からも見ることができます。



2府県を結ぶ京津線ならでは



京都府と滋賀県の境目を通過

ここに取り上げた3ヶ所を含めた、126ヶ所のすべてに踏切警報機が取り付けられています。

電車が通過の際は必ず警報が鳴りますが、実はこの音、遮断機が降り終わったあとや、夜間などでは音が小さくなるのです。いつも利用する踏切、今まで注意して見るという機会は少ないのではないでしょうか。電車の通過を待つ間、是非その名前をご覧になってみてください。面白い発見があるかもしれませんね。

「大津の京阪電車を愛する会感謝祭」開催!



「大津の京阪電車を愛する会」に入会すると受けられるさまざまな特典。そのうちの一つに錦織車庫にて開催される、会員限定の感謝祭があります。8月28日(土)に開催された今年のイベントの様子を紹介しましょう。

電車の運転

憧れの電車運転。自分がハンドルを握って、実際に石坂線を走っている電車を動かします。1グループで1名ではありました。参加すれば必ず運転体験ができました。



さあ! これから私が電車を運転します!!



どんな絵を描いているのかな?

電車をみがこう

仕事道具の使い方を教えてもらって、参加された皆さん全員で清掃のお手伝いをしました。



一生懸命がんばりました

びかぴかになった京阪電車。感謝祭の翌日からたくさんのお客さんを乗せて走っています。このイベントに参加するとどれも同じに見えていた電車たちが「私が運転した! 絵を描いた! お掃除した!」と身近に。京阪大津線に乗るのがよりいっそう楽しくなる感謝祭でした。

大津の京阪電車を愛する会 会員募集中!

「大津の京阪電車を愛する会」は貴重な公共交通機関である京阪大津線の利用促進を図ることを目的として、平成17年11月に設立された市民団体です。電車内や京阪沿線で行う各種イベントを通して京阪電車にふれあう機会をつくり、利用促進を図る活動を行っています。皆さんも本会と一緒に京阪電車大津線を支えていきませんか?

入会方法

- 入会は1口2,000円からです。
- ご住所、ご連絡先を電話(077-528-2736)、FAX(077-521-0427)にてお伝えいただければ、申込用紙兼振込用紙を送付させていただきます。
- 申込用紙兼振込用紙に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局で会費をお振込ください。後日会員証、乗車券等をお送りいたします。

会員特典

- ☆1口(2,000円)につきA、Bいずれかの乗車券がついてきます。
A.一日乗車券(500円相当×2枚)
B.普通乗車券(160円区間×6枚)
- ☆市内約40施設で割引等の特典が受けられる会員証1枚。
- ☆本会主催のイベント案内のほか会報を定期的に送ります。



申込用紙は京阪大津線各駅に設置しています。
郵便番号・住所・氏名・連絡先を記入してください。
郵便局で振込んでください。

編集後記

今年の夏は異常気象により非常に暑い日々が続きました。今回号の制作は6月から始まり、発行までの間は制作スタッフとの熱い日々も続いていました。紙面編集の際に、スタッフが要求することが創刊号制作時と比べて随分高度なものになってきました。編集長である私が知らぬ間に置いていかれることもありました。

新聞の編集を終え、すっかり秋となりました。私もようやく「あつい日々」からクールダウンが出来そうです。

(編集長・本田祐基)

大津の京阪電車を愛する会

<http://www10.ocn.ne.jp/~ok-love>

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津4丁目1-1
「明日都浜大津」1階 市民活動センター内
TEL/FAX:077-523-6238
(事務局は、土曜日の午後1時~4時に開いています)

〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1
大津市建設部交通・建設監理課
TEL:077-528-2736 FAX:077-521-0427